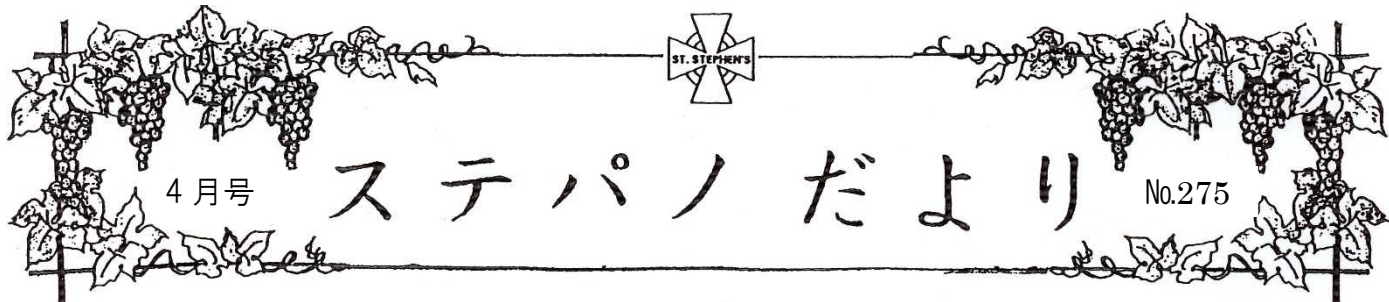




4 月号

ステパノだより

No.275

今月の聖句

『隣人を自分のように愛しなさい。』

マルコによる福音書 第12章 31節

◎ 4月の予定

- 5 日(水) 教職員協議会
- 6 日(木) 一学期始業礼拝
- 7 日(金) 入学礼拝式・在校生自宅学習日
- 10 日(月) 時間割変更期間(～14日)
給食開始(小2～中3)
- 11 日(火) 身体計測(小・中)
視聴力検査(中)
- 12 日(水) 視力検査(小)
- 13 日(木) イースター礼拝・聴力検査(小)
- 14 日(金) 新入生歓迎会(中)
神私小半日研修会
- 15 日(土) 保護者総会
- 18 日(火) 学力学習状況調査(小6・中3)
- 19 日(水) 給食開始(小1)
- 20 日(木) 耳鼻科検診
- 25 日(火) 体力テスト
- 27 日(木) 体力テスト予備日
- 28 日(金) 教職員協議会
- 29 日(土) 【昭和の日】
神奈川全私立中学相談会

抱 負

理事長 森田 利光

ステパノでは新年度に全教職員がその年度の抱負を「ステパノだより」に記しています。話し言葉ではなく、文字にしています。文字はいつまでも残ります。それだけ表現したことに責任が伴います。

児童・生徒たちにも保護者の皆さまにも文書として読んでいただけます。書いた本人も年度中に何度も思い起こすでしょう。読み返すかもしれません。年度初めに思っていたことが実行できているかどうか、振り返るかもしれません。その意味でも文書に残すことの大切さがあります。話し言葉で消えてしまうことが、文書はいつまでも残ります。

私自身も前理事長・小川正夫先生の後を受けて、新しい年度に入るわけですから、心新たに職務に当たらなければいけません。当然のことながら、ステパノの児童・生徒の皆さんのためになる教育の場を維持していくことが私の務めであることは当然のことですが、子どもたちが神さまに愛されて成長していくために何が必要かを常に教職員の皆さんと一緒に考えて行動していきたいと考えています。

「すべて人にせられんと思うことはまた、人にもそのごとくせよ。」という私が大事にしている聖書の言葉に忠実に生活していきたいと思っています。

信じる力

校長 佐藤 紀明

WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）で、日本は三大会ぶり、三度目の優勝に輝きました。全試合、TVの視聴率は40%を超え、予選ラウンドの東京ドームには合計36万人の観客が観戦して、熱い声援が送られました。日本代表、『侍JAPAN』の活躍に多くの人々が、勇気と感動をもらったと思います。特に栗山監督の采配が素晴らしかったです。ポリシーでもある「信じて任せて感謝する」で不振の選手を信じて使い続けていました。「信じる」ことは、難しいことです。信じて任せたくても、つい横から口を出してしまうこともありすが「待つ」ことも大切です。

今回の『侍JAPAN』を見ていて、強く感じたことは「気持ち一つにする」ことが大切だと思いました。私達、教職員にとつて「信じて任せて感謝する」姿勢が大切であり、目先の結果にとらわれないようにしたいです。信じる力は、ただ相手を信じるだけでなく、自分自身も信じなければ、判断や決断に迷いが生じて、任せることもできなくなります。謙虚に誠実に自分自身を信じていきたいです。今年度、創立70周年を迎えます。教職員を信じて任せて感謝しながら、気持ちを一つにして、児童・生徒それぞれの『良さ』を引き出し、さらに良い学校となるよう尽力します。

新年度の抱負

事務長 佐藤 雅美

毎年、この新学期の時期を迎えると、春という言葉の響き、気温、目に映る学園の桜の景色など、全てが柔らかく心地よい気持ちになります。

ここ数年、環境問題にとっても興味をもっています。以前は衝動買いすることがしばしばありました。すぐに飽きて捨ててしまうこともありました。学園でも春休みになると使わなくなったものを捨てることがあります。その行為は悲しく申し訳ない気持ちになります。ものを買う前にそれが本当に必要なのか、この先五年、十年と大切にできるかをしっかりと自分自身に問うことが大事だと思います。

どんなものでもそれを作る人や、そこにかかわる人達がいます。自分が手に取るものには背景、物語があり、そのことを想像して気にかけるだけでそのものとかかわり方が変わります。そのためにも仕事を見に行く、話すことをこれからも大切にしていきたいと思っています。

きれいな色で今年度を終えられるようにしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



スイッチ

小学校教務副主任 赤田 祐章

大学生の時、フィットネススクラブのマシントレーナのアルバイトをしていました。そのころ何か悩み事があったわけではないのですが、寝付きが悪かった私は、すぐに寝ることができるといふ親しい会員さんに、コツをお聞きしたことがありました。

「それはね赤田君、スイッチを切るんだよ」この言葉は今でも新鮮な感覚です。やる気スイッチという言葉もまだなかった時代に、気持ちの切り替え方をわかりやすく教えてくれたのだと思います。

さてステパノ学園では、授業と休み時間の気持ちを切り替えるために、始めと終わりに『礼』をしています。まず心を落ち着かせ、心を整えます。これも立派なスイッチと考えられます。

ステパノ式の礼は、

- ① 気をつけた姿勢になる
 - ② 言葉が先 「お願いいたします」
 - ③ 頭を下げる 一・二・三
 - ④ 気をつけた姿勢に戻る
- と初任の時に先輩から習いました。

正しい礼は、大人でも通用します。子どもたちにもしっかり伝えていくためにも、教員である私が、これからも一回一回の礼を大切に行っていくたいと考えています。

新たな一歩のために。

教諭 飯田 裕美

今年度は、中学三年生の副担を勤めさせて頂きます。最後の一年となる彼らと共に、最学年として更なる成長を、そして悔いなく一日一日が大切に過ごせるよう二挺木先生をサポートしながら尽力して行きたいと思っております。また家庭科専科として、『一人調理実習』を今年度も継続したいと思います。これにより自分のものだけを作るようになったことで全員が包丁やコンロを使い、活動の場が広がるようになりました。また家で練習してくる子どもも多く、彼らの意欲に加え、ご家庭での協力に感謝した一年でもありました。食べることは人間にとって生きる土台であると同時に命を頂いていること、神様の子であるステパノつ子として、生かされているということを忘れないで欲しいということを私自身強く願っております。また、実際に手を動かすことは五感を刺激し、感覚の発達につながります。指先を使うことは彼らの将来に何かしらの役に立つのではという思いから、ステパノの家庭科では実習を多く経験してもらっています。

彼らの手の中にある未来への新たな一歩のため、中三副担として、そして家庭科専科としてサポートしていきたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

吸って、吐いて。

教諭 石川 瑠一

光陰矢の如しという言葉がこれほど似合う一年は今までありませんでした。とりあえず走り続けていたら、もう一周終わってしまったという感覚です。この一年、もちろん息切れすること、どう走ればいいのか悩んだこともたくさんありました。それでも足を前に出すことが出来たのは、進めば進むほど新しい景色を見ることが出来たからです。季節によって色を変える七曲り、ボールを上手に蹴れるようになったグラウンド、日の当たる中庭、ぶつかりながら学び続ける教室。目まぐるしく移行行く日々の全てが私の手を引き、背中を押してくれました。こんなに素敵な毎日があるなんて大学での学びからは教わりませんでした。この一年間、この学校で教えることで学ぶことが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。そんな私ですが、今年度から二年生担任という襷をかけ新しい周をスタートします。昨年度以上に坂道も険しく、風も強く吹くことになるでしょう。それでも上った坂道から見える景色に期待を膨らませ、吹く風に身を任せ過ぎず背中であぐらで受けとめ、自分らしく走っていこうと思います。肩で切った風が誰かの後押しとなるように、走る姿に誰かが憧れ、信頼してもらえるように。一歩ずつ、前へ進んでいこうと思います。

初めまして

スクールカウンセラー 井島 素子

ステパノ学園のみなさま、初めまして。この四月から勤務します「いしまもと」です。何もかもが新しい春のにおいがしています。自然が芽吹き、さまざまな変化、誕生。新しい学年。新しい文房具をそろえたり、ちょっぴり緊張したりしていたのではないでしょう。か？私も新しく学園に来てみなさまにお会いできることにワクワクとドキドキを感じていました。今年度から新しくスクールカウンセラーが導入されたと同じ、今感じている、春のこの新しい予感が交ざった気持ちを忘れないようにしたいです。

学校はひとりひとりが学ぶ場であるだけでなく、学び合うところです。ひとりが話すだけでなく話し合う。そうしてお互いに支え合うところです。カウンセリングも、カウンセラーがひとりで、何か困りごとを解決することではありません。共に考え、共に迷ったり整えたりしていくプロセスです。ここで出会い、お互いの時間を共有できるよう相談室でお待ちしております。

どうぞよろしくお願いいたします。



共に喜ぶ

小学校教務主任 上戸 基夫

見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんとという喜び。(詩編133章1節)

聖ステパノ学園で子ども達と過ごす日々は、まさにこの聖書個所が現実になった場所です。様々な子ども達がそれぞれの力を発揮して一つのクラスが出来上がる。昔から小学校は社会の縮図であると言われてるように、考えや価値観の違う子ども達が集まることで、お互いにより高め合うと思います。

しかし、その社会も多様に変化し、それに伴って子ども達の交わりも変化してきました。加えて新型コロナウイルスの影響もあり、更なる変化を求められます。

多くが変わり、多様性が求められる今だからこそ、この一年は「目的と目標」をもつて歩むことを大切にしたいと考えます。授業や行事を行う時、その目的は何なのか。そしてどんな目標を持って臨むのか。まず自分自身が、そしてこの一年一緒に学び高めあう子ども達一人ひとりと一緒にしっかりと考えていきたいと思っています。

中学につながる大切な一年を担任することになり、改めて身の引き締まる思いがあります。卒業礼拝式の時に前述の聖句の様に、共に喜びを共有できるよう、仕事を全うしたいと思っています。

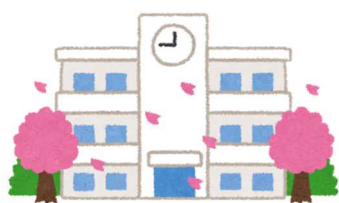
「新年度の抱負」

庶務 小出 初美

ご入学・ご進級おめでとうございます。豊かな森の緑の中にある聖ステパノ学園で働かせて頂くことになってから五年が経ちました。この五年間を振り返ると、最初に出会った子ども達も大きく成長し、進級・卒業と大きな節目に携わることができ、とてもうれしく思います。

会ったときには大きな声で挨拶してくれて、とても素直で優しい元気な子ども達です。素敵な学校だと思っています。私自身も、そんな子ども達を見習って、お手本になれるような行動をとるようにしたいです。

新型コロナウイルスの影響で我慢しなくてはならないことも多くあると思いますが、今年も皆さんが気持ちよく学校生活が送れるように、子ども達の成長を見守りながら仕事をさせていたただきたいと思っています。一年間よろしく申し上げます。



教諭 根田 栄子

今年度は小学校2年生の副担任と、小学校の音楽を担当させていただきます。

2年生は、音楽大好きな楽しいクラスです。今年は算数と一緒に勉強します。担任の高橋先生とは久しぶりのチームですが、小学校でも中学校でも一緒したことがあるのでホッと安心。先生が少しでもやり易いようサポートして行けたら...と思います。

また、小学校の音楽はとにかく楽しく!!音楽好きを一人でも増やせるよう、実技だけでなく鑑賞にも工夫を凝らして授業をしたいと思っています。3年生からは読譜や音楽記号の学習が始まりますが、音の無い、机の上だけの学習にならないよう、音楽科らしく楽しく学習できるようにしていきたいです。5月からは更に礼拝の聖歌も増えそうです。オルガンの練習もきちんと、子ども達の賛美をリードできるよう、礼拝に備えたいと思います。

プライベートでは、書道にハマっています!昨年12月から、高熱に苦しんだ数日を除いて、毎日筆を持ち練習しています。『継続は力なり!』を胸に、少しでも、毎日練習を続けたいと思います。目指せ師範! (23年度中は無理だと思いますが:次年度以降も継続した長期目標したいと思います。)

教務副主任 咲間 直人

「人の口は、心からあふれ出ることを語るのである。」

ルカによる福音書 第6章45節

心というのは、無限大に広がる部屋のように思います。扉は一つですが、その部屋には喜びだけでなく、怒りや不安など様々な感情が収まっています。そして、一番使われる物はすぐ取り出せるように扉を開いたすぐそばに置いてあります。逆に使わないものは部屋の奥へと追いやられて、埋もれていきます。扉を開けたすぐ目の前にあるものがイエス様の示された愛であれば、そこから生まれる言動は自分自身だけでなく、周囲をも豊かにすることに繋がります。ですが、もし手前にあるものが、怒りや不安であれば、口から出る言葉は建設的なものではなく、前向きに行動することもできません。

聖書には、愛は情け深く、自慢せず、高ぶらない、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてに耐える等、多くのことが書かれています。自分の力だけでは到底成しえませんが、だからこそ祈りを持って神様に依り頼み、他者を想うての愛が扉を開けた一番前にあるように心を整理し、皆様と向き合う一年としてまいります。

非常勤講師 笹尾 和子

ご入学、ご進級おめでとうございます。楽しくムリなく授業を進めていきたいです。

春休みのある日、散歩の途中で中学生のときの友達にばったり会いました。「秦野の戸川公園の桜が見ごろだよ、来週見に行こうよ」とおしゃべりが進みました。私は「月曜日が火曜日なら出かけた」と返答してその時は別れました。天気と相談しながら日数が過ぎて月曜の朝「今日にしよう」と意見が一致して出かけました。桜、菜の花、チューリップが、たくさん美しく咲いていました。私たちは中学を卒業してからずっと別々の進路を選んでいきます。でも会うとすぐに中学生に戻ったように仲良くなります。何日も会っていないことも、毎日同じ教室で過ごしていた頃に戻ることができます。

教室で過ごしていた頃は大人になっても友達が続くかどうかは、わかりませんでした。学校で、たくさん笑っておしゃべりしました。時々、意見が分かれて本気でケンカもしました。(仲直りできました)

学校で過ごす時間は、永遠ではないけれどずっと仲良しで相談のできる友達に出会います。興味が沸いてずっと学び続ける学問に出会うきっかけがあります。

それはどのタイミングなのかわかりません。神さまにお祈りしながら頑張ります。

強くあれ 雄々しくあれ

教諭 佐々木 心

ドキドキの一年生

教諭 澤邊 嵩介

抱負

養護教諭 清水 花葉

花々の馨しい香り、湘南の暖かい潮風に包まれ、ステパノでの三度目の春が今年もやってきました。今年は、私達を、日本を、これまで長い間不安と混乱の渦に巻き込んでいた制約だらけの生活にようやく変化の兆しが現れ、まるで春の訪れのように、小さな希望が再び見え始めています。試練とともに逃れの道を備えてくださる、という神様の約束を、私達はとても長い年月を通して体感しました。しかしそれでもまだ、苦しみや痛みの中にある人を覚える時、私達はこれまでの困難を経験したからこそ、以前とは違った寄り添い方を知っているはずだと感じるのです。そんな今年度も、またここで子ども達を迎え、そして一緒に生活できることを感謝し、喜びを持って仕えていく器でありたいと願います。

新しい変化がある分、そこにはたくさんさんの勇気や力が必要です。しかし、「わたしは弱いときにこそ強い」(聖書)ということ、そこには神様の揺るぎないご計画があることを信じて、謙虚に、そしてしなやかに成長していきたいと思います。

「わたしは、強く雄々しくあれと命じたではないか。うろたえてはならない。おののいてはならない、あなたがどこに行ってもあなたの神、主は共にいる。」ヨシユア記一章九節

聖ステパノ学園の小学校の昇降口の前には、四本の桜の木が立っています。

一番に花をつけるもの、いつのまにか蕾が綻んでいるもの、他の桜の木が花を散らす頃にきれいな花を咲かすもの。それぞれの彩りでステパノへの春の訪れを告げてくれます。

今年度は、小学校一年生の担任を務めます。一年生の担任をするのは実は初めてなので、ワクワクドキドキ：きつと、新しく一年生になる子ども達と同じように楽しみな気持ちと不安な気持ちが入り混じっております。

この、新しいことへのドキドキというのは、誰しもが感じるものだと思います。ドキドキという気持ちを言い換えてみると、「怖いな」「少し不安だな」「楽しめるかな」：などなど人によって様々な表現になることでしょう。

小学校一年生にとって学校生活は、沢山の新しいことに溢れている場です。新しい教室、新しい先生、新しいお友達、新しいお勉強：これだけ新しいことが待っていると、不安も楽しみも、さぞ大きいことでしょうね。

新しいことが沢山の新一年生。私も新鮮な気持ちで一緒にドキドキしつつ、皆で楽しく生活できるように努めていこうと思います。今年の十一人の一年生。これからどのような花を咲かせていくか、今から楽しみです。

暖かく気持ちの良い陽気とともに、新年度が始まりました。毎年この時期は、新しい教室でそわそわしながらも嬉しそうな顔をしている子ども達を見て、私も新しい気持ちで頑張ろうと気が引き締まります。それと同時に、身体計測や健康診断が始まり、ばたばたと1学期がスタートです。各学期それぞれに特徴があると思いますが、学年が上がってどこかキラキラとした表情の子ども達にパワーをもらいながら過ごす1学期は、私の好きな学期のひとつです。

今年度は久しぶりに、2度目の中学校所属となります。小学校保健室と中学校保健室では、児童・生徒の来室理由は大きく異なり、仕事内容も大幅に変わるため、わくわくした気持ちです。しかし、児童・生徒がどの学年であっても、子ども達一人ひとりに合わせた対応ができるように、こころがけていきたいと思っています。

感染症法において、新型コロナウイルス感染症がもうすぐ5類に引き下げられるのとことです、その後の学校生活はどう変化していくのでしょうか。引き続き感染防止対策に力を入れつつ、子ども達がステパノ学園で、楽しみ、成長できる環境を整えるお手伝いに力を注げたらと思っています。

新年度の抱負

総務 新庄 主来

聖書に

「小さい事に忠実な人は、大きい事にも忠実であり、小さい事に不忠実な人は、大きい事にも不忠実です。」と記されています。

どうしても大きい事に目が向いてしまいがちですが、目の前のほんの小さな事がとても大事なことが数多くあります。オリンピックで賞を得るには日頃の努力の積み重ねが非常に重要になります。どんなに偉大な選手でも練習を疎かにしていたら表彰台に立つことはまずあり得ません。パウロも

「競技場で走る人たちは、みな走っても、賞を受けるのはただひとりだ、ということを知っているでしょう。ですから、あなたがたも、賞を受けられるように走りなさい。」

別の個所では、

「キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。」と語っています。

小さい事に忠実であるからこそ賞を自分のものにできるのです。私自身も私に与えられた職務をイエス様の助けを頂きつつ、一つずつ忠実に果たせていけたらと祈っております。新年度も何卒宜しくお願い申し上げます。

今年度の抱負

教諭 高橋 謙二

今年度は小学2年生を受けもたせて頂きます。低学年の担任になるのは、久しぶりで正直少し驚きましたが、可愛い2年生と一緒に生活できることを想像すると、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。

学校（クラス）は毎日色々なことがありますが、まずは楽しく、心地よく、ゆつくりと、学校生活を子どもたちと送れることが一番です。他学年の教職員・保護者の皆様にも、助けて頂ければ幸いです。このようなご時世ですので、何が起るかわかりませんが、私自身は、一日一日を大切に、どのようなことに對しても、前向きに捉え『有り難い、ありがとうございます』の気持ちを大事にして勤めていく所存でございます。一年間どうぞよろしくお願い致します。

また支援委員会の一員としても引き続き担当させて頂きます。今年度はスクールカウンセラーの井島素子先生と協力しながら一緒に支援教育体制を整えていければと考えております。ただ、保護者の方のご理解とご協力、そして信頼関係がなければ、良い支援はできませんので、重ね重ねにはなりますがご協力をお願い致します。どのようなご相談でも、遠慮なさらずにお声掛け下さい。

新年度の抱負

中学校教頭 田中 圭史

今年度、中学校は十五名の新入生を迎えてスタートします。特に今年度は昨年度よりも行事などを含め生徒の活動の場が広がっていくことを期待しています。

小さい学校ではありますが、クラスをはじめ、委員会、部活動、行事の班活動等、様々な集団を意識して生活することを目的の一つとして据えています。一人ひとりに役割が与えられるとは、同時に自分自身がしなければならぬ責任が生じます。自分のルールを必要に応じて相対化すること、他者と協力して責任を果たすこと、そのような力を育んでいきたいと考えています。他学年との交流が深められることによって、彼らが自分とは異なる考えにふれ、新しい視点を持つことや相手の立場にたって行動することを身につけてほしいと思います。

日々の学習がそのような力の土台となっていくことを願い、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

また子どもたちの成長のために、教員間の連携、ご家庭との連携を密にして取り組んでいきたいと考えています。今年度もよろしく申し上げます。

「心を見守れ」

教諭 露崎 志苑

ご入学、ご進級おめでとうございます。
今年度は、中学一年生の担任を務めることとなりました、中学校英語科の露崎志苑（つゆざきしおん）と申します。

私は、中高一貫校に4年間、企業に2年間勤めたのち、昨年度よりステパノ学園に赴任いたしました。新たな環境での一年間は、英語にある「Time flies」という言葉の通り、月日があつという間にとびたつていきましたが、とても充実した一年間となりました。

ステパノに来てから特に印象深く感じるものは、生徒たちの優しい「心」です。一人ひとりの素直な、優しい「心」に私自身の「心」が呼応し、「もっと関わっていきたい」という自然な気持ちたちが浮かび、日々の関わりや教育実践へとつながっていきます。

さて、私の新年度の抱負は「心を見守る」ことです。聖書を読むと、ことばや行動の源泉は心にあることがわかります。教師として与えられた良い働きができるよう、自分自身の心をしっかりと見張り、内省し、人が自然と呼応してくれるような柔らかな心を持ち続けることを目指したいと思います。

「何を見張るよりも、あなたの心を見守れ。
いのちの泉はこれから湧く。」（箴言 4:23）

今年度の抱負

養護教諭 土橋 久美子

今年度は小学校保健室を担当することになりました。昨年度も小学校保健室にいる機会があったので、子どもたちがすんなり受け入れてくれることを願っています。

さて、保健室は「体調が悪いときに休養する場所」、「怪我をしたときに応急手当をする場所」ですが、学校の一部ですので、来たら何かを学んでいって欲しいと思います。例えば、緊急性の低い怪我（ささくれなど）ならば休み時間に来室し授業を大切にすることや、来室時にはノックをして入ること、出ていくときには「ありがとうございます」を言うことなどです。また、保健室は休んでいる人がいることを想定して静かに過ごす場所でもあります。そんな経験を通して思いやりの気持ちや誰かの役に立っているという自己有用感を育めるように声をかけていこうと思っています。

小学生は中学生と比べると、より大人が守らなければならぬ場面が多いですが、過度な心配や口出しは子どもの成長の機会を減らしてしまうこともあると感じています。子どもたちが自ら成長していく力を信じ、失敗も良しとしながらそれぞれの自立に向かっていけるように後押ししたいと思います。

新年度の抱負

守衛・校務 飛田 裕二

一年があつという間に過ぎ、またこの季節になりました。毎年春は出会いと別れがあります。鹿児島県知覧町に特攻平和会館があり昔から行きたい場所の一つでしたが、行く機会に恵まれてこの冬に行ってきました。館内には戦争時代の特攻隊の遺品や手紙、隊員達の写真などが展示してあります。当時の人は今では考えられないほど御国のためにと大切な命を投げ出し、片道分の燃料で出撃し、敵艦に体当たりし、海のもくずとなりました。

出撃前夜、三角兵舎という隊員達の寝泊りする、8名ほどの宿舎で親、母親、兄弟に宛てた手紙を読むと、涙が溢れてきました。帰って来られないと分かっているのに誰もが気丈な言葉を残していました。命の尊さを改めて学ぶことが出来、とても感動しました。

南さつま市加世田にある万世特攻平和祈念館にも行きました。似たような場所ですが、一度は行って肌で感じてもらいたいと思います。先人達の生き様が有り、私達が生きているのです。両方に頭を下げ後にしました。

今一度、こんな私ですが、親に感謝し、周りの人達にも感謝し生きていこうと思います。見ざる、聞かざる、言わざる、礼節を重んじて新年度の抱負とさせて頂きます。今年度も宜しくお願い致します。

毎日を楽しむ

非常勤講師 中村 紀子

皆さん、はじめまして。今年度から、中学校の社会科を担当させていただくことになりました中村紀子です。

長く教壇を離れていましたので、最初はとも不安でした。しかし、お世話になっていく周囲の方々に「あなたのために、神様が用意して下さった道だから、ぜひチャレンジしてごらんなさい。」と強く背中を押していただき、前向きな気持ちになりました。今は、これから始まる新しい毎日にどきどきわくわくしています。

皆さんにとって学校はどんな場所でしょうか。私は中学生の頃、学校が大好きでした。ずっと学校にいたいと思い、教員を志望しました。もちろん楽しいことばかりでなく、つらいことや悲しいこともあるかもしれませんが、でもやはり、学校は楽しい場所であって欲しい。生徒の皆さんに少しでもそう思ってもらえるよう、すてきな仲間と豊かな時間が過ごせるよう、お手伝いができたらと思っています。そのためには、まず私自身が新しい出会いに感謝し、毎日を楽しむことが大切だと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の抱負

教諭 難波 寛

今年度は中学校2年生の副担任を務めさせて頂きます。担当教科は数学です。

昨年度と一昨年度は中3担任を務めていました。中3担任の時は、修学旅行の準備や受験で仕事に追われる毎日を過ごしました。その苦労もあって、実際に修学旅行に行った時に生徒から喜びの声を聴くと、とても嬉しい気持ちになりました。皆で好み焼きを作ったのは楽しい思い出です。この2年間はとても大変でしたが、とてもやりがいのある日々でした。

今年度も数学教育をはじめ行事など様々な当させてもらう事になっています。中学校は昨年度から石川先生、露崎先生をお迎えし、これからもより充実した教育を行っていかなくてはならないと思っています。日々変わる感染対策など、「今まで通り」ではうまくいかなくなっていることが多々あります。そこで、こまめに教員同士で話し合いを持ち、対応策などを考えていかななくてはならないと思います。私もこの聖ステパノ学園でいろいろな経験をさせてもらい学ばせてもらってきました。今度はその知恵を生かし、これからの聖ステパノ学園に役立てていければと思っています。

「新年度に向けて」

教諭 西村 哲臣

大磯の自然に囲まれた聖ステパノ学園で迎える2回目の春です。春のすがすがしい空気をマスク越しに吸いながら、校門の桜の木を見上げるとすでに葉桜になっていました。桜の開花が段々早くなり「新学期のころは桜」というイメージがなくなってきたのはいいかなのでしょう。コロナ禍で迎える春ですが、四月から少しずつ日常の生活に戻る方向で世の中は動き始めています。早くマスクをとって笑顔で挨拶したり、授業をしたり、楽しく会話しながら給食も食べたいと願います。神様が私たちに与えた大きな試練の後には明るい希望があります。長い間我慢した分、日常に戻る今年度に期待したいものです。

「天のお父様は私たちが心を正しくするようになすめておられます。そのために私たちが神様の教えを守っていくことができるよう勇気を与えてほしいです。天のお父さま、私たちに豊かなお恵みをおあたえください。私たちは頂いたお恵みをしっかりと覚えて、これからも神様にしたが正しいことを行う人になります。」

毎朝の礼拝の式文にある感謝の祈りを改めて考えながら新年度を迎えます。今年度もよろしく願いいたします。

今年度の抱負

中学校教務主任 二挺木 健太

先日、WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）が開催され、日本代表は3大会ぶりに世界一を奪還することができました。今回の代表選手の中には初の日系人選手のヌートバー選手が選出され、1番打者や外野の守備での働きは大きく、それに加えて、チームのムードメーカーとしての存在も目立っていました。

ヌートバー選手が試合の中で行っていたパフォーマンス、「ペッパーミルパフォーマンス」がメディアでも取り上げられ、話題になりました。その由来を調べると、小さなことからコツコツと継続し、粘り抜こうという意味が込められており、ヌートバー選手の所属チーム、カージナルスで始めたパフォーマンスのようです。ステパノでも子どもたちに日頃からコツコツと積み重ねることが大事とよく話をしていきます。それは私たち教職員も同様です。一日一日を大切にし、日頃から小さなことを積み重ね、時には粘り強く、子どもたちそして学園のために身を粉にしてお仕事させて頂こうと思います。本年度もよろしくお願ひいたします。



新年度の抱負

非常勤講師 能條 貴大

やわらかな日差しが心地よい季節となりました。草木や花も色とりどりに茂り、暖かな春を感じさせます。

昨年末より育て始めた植物の苗も二月の末頃から芽を出し始め、今では根元を覆いつくすほどの大ぶりの葉が茂っています。自分で植物を育てるのは小学生のアサガオ以来。ガーデニングに詳しい先生にお話を聞いたり、Youtubeを参考にしたりと、試行錯誤しながら育てています。

子どもの頃は、すぐに結果の出ないアサガオの観察に面白さを感じていませんでした。しかし、今では植物の小さな変化に一喜一憂し、より良い成果を求めて昔を思い出しつつ学習することの大切さを感じています。

ステパノ学園では、小学生から中学生まで、幅広い年代の生徒たちと音楽を学んでいます。が、指導のために教材研究をしていると、未だ新しい発見があり、音楽の奥深さを感じることがあります。以前に学んだこと、昔の事柄を思い出し、新たな知見に至ることを「温故知新」と言います。その新しい発見が子どもたちの音楽への興味につながるよう今年も努力したいと思います。



希望の一年に

小学校教頭 長谷川 誠子

いよいよ新学期のスタートです。新しい学年に向けて笑顔はじける子ども達。かわいい新入生を迎え、学園もまた一段と明るく、賑やかになりました。

コロナウイルスに対する感染症の対策も3年にわたり行われてきましたが、今年度は少し緩和される方向に進んでいきそうです。子ども達の学園生活の規制が少なくなり、心身ともに伸びやかな生活ができる一年であるよう願っています。

規制のなかった頃の学園生活を、まだ体験していない子ども達や暫くぶりの子ども達にとっては、少し戸惑うこともあるかもしれません。しかし、これから始まる様々な活動や体験を、新しい活動として子ども達には十分に楽しんで取り組んでいってほしいです。

「あなたの御言葉はわたしの道の光
わたしの歩みを照らす灯」

詩篇第119編 105節

今年度も様々なことがあるかと思いますが、子ども達の更なる成長を願いつつ、神様の照らしてくださった道をみんなで協力して歩んでいきたいと思えます。ご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

「期待」

教諭 林 健太郎

ご入学、ご進級おめでとうございます。

今年度小学校三年生の副担任を務めさせて頂きます林健太郎です。

さて、私の今年度の抱負は、「後悔しないようにする」にしようと思いました。私は、割と後悔することが多いので、今年度は、この抱負にしようと思いました。しかし、〇〇しないようにするというのは、抱負としては少しネガティブな印象になってしまっています。そこで、「後悔」の対義語は何なのか調べてみましたところ、いくつか出てきましたが、「納得」、「満足」、「予見」等が出てきました。今まで、あまり意識したことはありませんでしたが、どれも成程と思いました。

その中で「後悔」の反対の意味として、私が最も当てはまると感じたのは、「期待」です。自分のした行いをあとになって失敗だったと悔やむ「後悔」、良いことが実現するのを心待ちにする「期待」。勿論「期待」すればする程、上手くいかなかった時に、落ち込んだり、「後悔」することにもつながります。しかし、「期待」をして、物事が上手くいくように願いを込めながら行う方が素敵だなと思っています。今年度、子どもたちの一年間の成長に大きな「期待」をしていきたいと思っています。

今年度が神様の見守りによって素晴らしいものとなりますように。

図書室へようこそ

学校図書館司書 平野 朋子

ご入学、ご進級おめでとうございます。

小中学校の図書室は体育館棟二階の音楽室の隣にあります。昼休みに図書委員と本の貸し出しを行っています。中学校校舎からは遠いため、教室の近くに図書コーナーを設けて中学生はそこで貸し出しをしています。

昨年度は国語科の石川先生がほとんど毎日給食のあとで図書コーナーを開けて下さったので、私が小学校の貸し出しを終えて中学校へ行った時にはもうたくさん生徒たちが本を読んだり借りたりして賑わっていました。石川先生はご自分の読み終わった本を『石川文庫』として本棚に置いて下さり、生徒が借りたいと申し出れば貸し出しもして下さっていました。

図書室のよい所は、クラスの誰かが面白そうな本を読んでいていいなと思ったら、次に自分も借りて読むことができることです。そしてその本がよかったら、今度は他の友達にもお勧めしてみんなで一冊の本から得る喜びを分かち合うことができます。

今年度も図書室では、みなさんのリクエストを聞きながら選書をしたいと思っています。みなさん、図書室に遊びに来て下さい。図書室がみなさんにとって居心地の良い場所になるように、活動していきたいと思っています。

『『そうしたい』』と考える教育を」

教諭 藤原 佳紀

「ただいま！」「おかえりなさい！」

これは、私の住むマンションに毎日響き渡る、小学生と管理人さんのあいさつです。

ごあいさつが遅れましたが、今年度から聖ステパノ学園小学校で働かせていただくこととなりました藤原佳紀と申します。

私事ですが、息子が生まれたため、新しいマンションへ引っ越しました。私達がこのマンションを選んだ理由が、あいさつです。

冒頭のように、大人がハツとさせられるほどに、清々しく楽しそうなそのあいさつに、本当に驚かされました。もちろん住んでいる大人の方々も同様に、どんな時もあいさつを欠かしません。ゴミ置き場もきれいで整然としていたり、エレベーターのドアを開けて待っていたり：

なぜこんなことがおきるのか。それは、みんな徹底すると気持ちがいいということを知っているからなのだと思います。あいさつはしなければいけないという義務感ではなく、あいさつをする気持ちがいい、楽しいという感覚を共有し、もつとしたいと思っています。ことが重要なのだと思います。

この学園でも、児童生徒が心の内から「『そうしたい』』と考えるような教育をしていければと考えています。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。

新年度の抱負

庶務 松崎 由香

ご入学、ご進級おめでとうございます。
新年度を迎える桜の季節になりました。
毎年の事ですが、また新しい出会いを思い浮かべながら準備を進めています。

早いもので私のステパノ歴も十年超え、十一年目になります(笑) 月日が経つことをとても早く感じる日々です。気持ちも新たに今年もよろしくお願い致します。

学校生活も少しずつ通常に近づいているとは思いますが、「当たり前に出ていた事が出来ない」まさにこの状況に私自身、直面する出来事がありました。この状況を受け入れて、どう対処するべきか、一番良い解決方法と、どうしたら効率よく出来るのか考えてみました。それでも一人では、やはり限界がありました。

そんな時に、周りの人の手を借りて、少しずつ通常に近づく事が出来ました。人の優しさ、気遣い、思いやり、一人で乗り切ることが出来ないときにはとても力になりました。

人と人のつながり、とても大切なことだと改めて痛感しました。困ったときは、勇気を出して周りの人を頼ってみることも大事ですね。このステパノらしさ私も見習って実践していきたいと思います。

日々新たに

教諭 松村 はるか

ソーシャルメディアの影響で、急激な社会の変化を実感する昨今、聖ステパノ学園でも児童生徒全員がタブレットを用いて学ぶ時代がやってきました。

タブレットやスマートフォン一つで、どこにいても、瞬時に世界とつながることが出来る。便利な時代です。そして、ちよつぱり、おっかない時代でもあります。

社会の変化とともに、教育の在り方も大きく変化してきました。今、教育に何が求められているのか。常にアップデートし、学び続けなければなりません。それは、私にとって努力を要することではありますが、わくわくすることでもあります。

子どもたちと過ごす日々は、私に社会の在り方を考えさせてくれます。同時に、変わりゆく社会の中で、決して変わらないものを私に教えてくれます。

新緑の季節、「信仰・希望・愛」を掲げた聖ステパノ学園で、また新たに子どもたちと出会えるお恵みを心から感謝します。

今年も、学園の子どもたちとともに、日々新たに成長することができるよう、努力いたします。そして、変わりゆく社会の変化を楽しみながら、教育の神髄について、問い続けてまいります。

生活書字力

非常勤講師 山澄 智英

ご入学、ご進級おめでとうございます。

ときどき耳にする文字の巧拙に関する言葉、それらは言い換えれば「整っている、整っていない」ということです。「整え方を知っている、知らない」とも言えます。

俗に「書は人なり」と言われることがあります。この言葉は古人の書論に見られる言葉をもとにしています。基本的には誰もが必要に応じて一所懸命文字を書きます。「書かれた文字がその人のあらゆる面を伝える」というこの言葉の意味は、人を否定しているようにも感じられます。大人が習い事のきっかけとしたり書字(しよじ)意識を高めるために使ったりするならともかく、学校教育にあてはめるものではないでしょう。

教科書の教材文字は、競書誌の月例の学年別課題のように手本として取り上げられているものではありません。今年度も昨年度に続いて、字形の整え方の原則や用語等の知識の習得を重視し、書くことを通して知識が技能を支えることを理解させ、学習したことの日常化を図る授業を進めて参ります。

一年間、ひとりひとりの生活書字力向上のために努力したいと存じます。よろしく願います。

バトンを繋ぐ

教諭 和田 好江

令和時代に入り五年目、国内だけでなく世界でも不安の強い社会情勢の中、ステパノの子ども達の教育を考える時期だと痛感しています。コロナ禍で子ども達の経験不足も、学びも、私達教職員は、学園の将来の為の考え、話し合い、実践の時を迎えました。私の此処での教員生活も長くなりました。私の責務は、歴代の先生方のお働きを回顧し、これからの学校のために働く事であると思っています。

今年度も中学校の所属となりました。直接授業を持つことはありませんが、部活動や行事等、授業以外の場面での関わりを大切に、子ども達の心の支えになれるよう努めたいと思います。

主に授業を担当する小学校の体育科については、子ども自身が主体的に参加する、子ども同士・子どもと教師とが対話していく授業をつくり、研究を深めていきたいです。6年間で、「体育が好き」と言ってもらえるよう準備し、自分自身も楽しんで授業に向かえるように心掛けたいです。

「心身共に健康な生活を送れる子」を目標に、学園全体の子どもの成長を見守りたいと思います。それには、教職員の協力と団結を更に深め、良い組織となっていきたいです。将来にバトンを繋ぐために。

卒業制作



第61回 中学校卒業生
「ベンチ」

STEPHEN'S NEWS



第64回 小学校卒業生
「掲示板」

STEPHEN'S NEWS

【表彰】（昨年度）

○実用英語技能検定 五級
小六 木村 玲温

○あすなろ交歓会 絵画の部
銅賞 中三 村田 渉

【離任者・着任者の紹介】

○離任者

小学校教諭

伊藤 有紀

小学校教諭

櫻田 千亜紀

中学校教諭

金阿彌 勉

中学校教諭

栗原 詩津子

陶芸部顧問

宮本 光春

○着任者

小学校教諭

藤原 佳紀

非常勤講師（社会）

中村 紀子

スクールカウンセラー

井島 素子





整地した後、花がたくさん植えられました。



正門入口の桜をレリーフ側に移植しました。



洗濯機用の小さな小屋ができました。



七曲りの手すりも新しくなりました。



新小学校2、3年生が植えたチューリップが
今年も綺麗に咲きました。



グラウンドの桜も満開を迎えました。

募金寄付申込者ご芳名

心からの感謝を込めてお名前を掲載させていただきます。ありがとうございました。

2022（令和4）年4月1日～2023（令和5）年3月31日



■一般寄付			
花輪正浩 様	30,000円	大山清和 様	30,000円
新宅文雄 様	30,000円	下津彩香 様	100,000円
竹中拓馬 様	10,000円	横浜教区銚子諸聖徒教会 様	10,000円
中林三平 様	35,000円	MF 様	100,000円
内村太郎 様	50,000円	菅 賢一 様	100,000円
日本キリスト教団大磯教会 様	5,000円	立教女学院藤の会奉仕委員会 様	200,000円
濱田昌則 様	10,000円	倉石 昇 様	20,000円
■特別寄付		富士電子工業㈱代表取締役社長 渡邊弘子 様	200,000円
■ホー ル		二和化工紙㈱代表取締役 二井貴了 様	30,000円
藤吉公子 様	20,000円	山崎 恵未 様	100,000円
■特別寄付		■クリスマスお祝い	
■体育館棟建築基金		(株)ユー電子工業 様	10,000円
土屋千絵 様	100,000円	二宮隆光 様	3,000円
関屋恒平 様	5,000円	太久保陽子 様	1,000円
佐々木正 様	30,000円	■チャペル献金	
ギブソン ジョン・悦子 様	100,000円	咲間直人 様	10,000円
ミネルヴァインサイト合同会社 様	100,000円	■感謝	
渡辺 修司 様	5,000円	鈴木孝善 様	マリ・ゴールド、カフト虫幼虫
立教女学院小学校児童一同 様	100,000円	木村須美江、凜舌 様	タオル 64枚
須藤美矢子 様	100,000円	薄田由紀 様	マスク、アルコール消毒
咲間直人 様	10,000円	井口一世 様（群馬銀行 様）	ベンチ 10台
落合則子 様	10,000円	社会福祉法人にじのいえ 様	絵本 のび～！
飯尾京子 様	50,000円	高木洋子 様	絵本 まちんと、My HIROSHIMA
森本 哲 様	100,000円	阿部昭一 様	大正琴、絵本
高桑 恵 様	30,000円	オリーブの木キリスト教会 様	アドベントカレンダー 140冊
天利和希 様	20,000円	立教小学校 様	カレンダー 100冊
由井翔太 様	10,000円	立教女学院小学校 様	カレンダー 100冊
根岸由布子 様	10,000円	水藤幸子 様	洋菓子
七重会 坂本喜杏 様	30,000円	佐野大介 様	書籍 よくわかる土中環境
立教小学校 様	100,000円	日本環境マネジメント㈱ 様	絵本 ひみつのもりのいちねん
五十嵐正一 様	20,000円	小出 充 様	サッカーボール 1個
阿部 昭一 様	10,000円	ご寄付戴いた方のご芳名を基本的に受付順に掲載しております。	



本年度のSA（ステパノ・エンジェルス）の活動を支えて下さる新役員をご紹介します。

【中学校代表 中2】

父と兄が牧師のクリスチャンです。まきば（幼稚園）からステパノへと神様に導かれ、ここまで何とかやってこられたのだと思います。ステパノの先生方は何よりも子どもの心の成長を大切にし見守って下さっていると感じています。合唱、ピアノ演奏、時々筋トレをしています。平塚市在住。

【中学校代表 中2】

先生方はじめ多くの皆様に温かく迎え入れていただき2年が経ち、去年に引き続き役員をさせて頂くことになりました。皆様のお役に立てるよう努めて参ります。自然やお花が好きで、花仕事をしています。大磯町在住。

【小学校代表 小6】

日頃お世話になっている学園や先生方、皆様のお役に立てるように微力ではありますが頑張りたいと思います。雛から飼いだめたインコ2羽の成長が楽しみです。大磯町在住。

【小学校代表 小6】

あつという間の6年目、学園への感謝の気持ちを含め、先生方や保護者の皆様と、子ども

もたちが楽しく充実した学園生活を送れるよう、サポートさせていただきたいと思っています。お菓子やパンを作ること、食べることが好きです。平塚市在住。

【書記・会計 中2】

毎日元気に学校へ通えることに先生方や保護者の皆様に感謝し、少しでもお役に立てるよう努めさせていただきます。犬が大好きでトリミングスクールに通い、トリマーを目指しています！大磯町在住。

【書記・会計 小5】

学園に少しでも恩返しが出来よう、微力ながら努めさせていただきます。学生時代ハマらなかった語学学習に何故か今ハマっています。大磯町在住。

大磯近況



明治記念大磯邸園では「四阿」を設置。隈研吾建築都市設計事務所が設計を担当、隈研吾氏が「海が見えるホール」で講演されました。

SAの部屋委員会…小6

《お詫び》

3月号のSTEPHEN'S NEWSにて、一部誤りがありました。お詫びし、訂正いたします。

【誤】中学校男子 3.4キロの部

【正】中学校男子 3.1キロの部

【編集後記】

新年度が始まりました。学園の様子や子どもたちの様子を読者の皆様に楽しんで頂けるよう今年度もチーム一丸となって頑張ります。（ひ）

巡る季節の早さにあっけにとられている毎日です。今までかかっていたコロナという厚い雲の間から日差しがのぞくようになりました。今年はたくさんひなたぼっこができることを願っています。（り）

心新たに、新年度を迎えました。今年も学園の様子を分かり易くお伝え出来るよう努めて参ります。（え）

学園に集う児童生徒の「表情」を、読んでいただく方々にも同じように感じていただけるようなおたよりをお届けいたします。『喜ぶ者とともに喜び、泣く者とともに泣きなさい。』よろしく願いいたします。（こ）

発行者 聖ステパノ学園小学校・中学校

校長 佐藤 紀明

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯868

TEL 0463-61-1298

FAX 0463-61-9739

<http://www.stephen-oiso.ed.jp>

二〇二三年四月十日（月）発行第275号